

## 試料の採取方法

アスベスト粉じんを吸い込まないようにマスクを着用して下さい。

① 霧吹き(水)で採取箇所を湿潤化する。



② 測定対象を代表する試料をカッター等で採取する。



③ 吹付け材・保温材は、1 か所10 cm<sup>3</sup>程度で、3 か所から別々に試料を採取し(3か所合計、鶏の卵1個分程度)、それぞれの試料をチャック付ビニール袋などに入れ、更に、三つの試料を一まとめにしてビニール袋に入れる。

板状で硬い材料の場合は、1 か所100 cm<sup>2</sup>程度で3 か所から別々に試料を採取し、それぞれの試料をチャック付ビニール袋などに入れ、更に、三つの試料を一まとめにしてビニール袋に入れる。

注① 建設時期によって、アスベスト含有と非含有とが混在することがある。また、改修工事によって、アスベスト非含有製品への転換などがあるため、設計図書などを参考に試料採取位置を決める。

注② 試料採取は表層部分だけから採取せずに、下地部分まで貫通して採取する。また、一部の建材製品には、使用目的によって、一部分だけにアスベスト含有製品を使用している場合があるため、継目を目安にしてアスベスト含有部分を判断し、採取する。

## 試料の採取記録

採取した試料は、識別のために、下記の項目を記録する。

- ① 建材名
- ② 建物、配管設備、機器などの名称及び用途
- ③ 施工年及び建築物への施工などを採用した年
- ④ 建物などの採取部位及び場所
- ⑤ 試料の概要(形状又は材質:板状、吹付けなど。試料の大きさ:おおよその試料量)、採取方法及び採取年月日
- ⑥ 採取者の氏名